

世界史 B 確認テスト 7 教科書 P129~131

- 1 中世の西ヨーロッパでは、貨幣の価値が低下して、物々交換が中心の経済となった。このような経済を漢字4字で何と呼ぶか。
- 2 土地を所有する貴族は、国王から「公・侯・伯・子・男」などの爵位を与えられ、それが土地を所有する権利の根源とされた。そのため、「貴族」や「領主」とほぼ同様の意味で用いられる、漢字2字の用語は何か。
- 3 ローマ帝国末期に広まった、「小規模な土地の所有者が大土地所有者に自分の土地を寄進し、代わりに保護を得ようとした」制度のことを、何と呼ぶか。
- 4 ゲルマン社会に存在した、「小貴族や自由人の子どもが、有力者の従者となる代わりに、衣食住を受け取る」という慣習を、何と呼ぶか。
- 5 中世における貴族の権利は強く、国王といえども貴族の荘園には、課税することも立ち役人を送ることもできなかった。この権利を何と呼ぶか。
- 6 領主が互いに、「土地の授与と保護」と「軍事的奉仕」を契約することで、「主君と家臣」の関係となることを何と呼ぶか。
- 7 日本や中国の封建制と異なる、中世ヨーロッパの封建制の特徴を説明しなさい。
- 8 中国の封建制の特徴を説明しなさい。
- 9 中世ヨーロッパの領主が経営する農地を何と呼ぶか。
- 10 領主の隷属下にあった、荘園で農業を行っていた農民のことを何と呼ぶか。
- 11 領主が10に対して持っていた、様々な問題を裁定する権利を何と呼ぶか。
- 12 10の起源とされる、ローマ帝国の専制君主制における小作人を何と呼ぶか。
- 13 10が、領主の直営地を耕すことを課された義務を、何と呼ぶか。
- 14 10が、領主から借りた土地で生産した物の一部を納める義務を、何と呼ぶか。
- 15 10が、教会に対して生産物の決められた割合を納める義務を、何と呼ぶか。

世界史 B 確認テスト7 解答

- 1 現物経済
- 2 諸侯
- 3 恩貸地制
- 4 従士制
- 5 不輸不入権
- 6 封建的主従関係
- 7 双務的な契約関係である
- 8 血縁による宗族にもとづく関係である
- 9 荘園
- 10 農奴
- 11 領主裁判権
- 12 コロヌス
- 13 賦役
- 14 貢納
- 15 十分の一税